

教育研究業績書

2017年10月20日

所属：薬学科

資格：助教

氏名：吉富 久恵

研究分野	研究内容のキーワード
東洋医薬学	生活習慣病, 病態モデル動物, 天然植物
学位	最終学歴
薬学博士	武庫川女子大学大学院修士課程

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 薬学基礎実験	2012年～現在	健康生命薬科学科1年 後期 1単位 必須準備、指導、レポート評価を行う
2. 早期体験実習Ⅱ	2010年～現在	健康生命薬科学科1年 後期 1単位 必須準備、指導、レポート評価を行う
3. 研究室に配属する大学院生および学生の指導	2007年4月～現在	研究指導、学会発表や論文作成等の指導を行う
4. 生薬・天然物医薬品を取り扱う	2007年4月～現在	薬学科3年 前期 1単位 必須準備、指導、レポート評価を行う
5. 天然物化学実験	2007年4月～現在	健康生命薬科学科3年 前期 1単位 必須準備、指導、レポート評価を行う
2 作成した教科書、教材		
1. 実習テキスト	2007年～現在	学生のレベルや知識に対応した実習帳の作成を行った
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 北京中医薬大学留学生の受け入れ、指導	2009年～現在	毎年、10月から3月までの半年間、北京中医薬大学の博士課程在籍の大学院生を受け入れ、モデル動物や培養細胞を用いて、生活習慣病に対する研究を指導している
4 その他		
1. 武庫川女子大学付属高等学校SSHの学生への講義		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 薬剤師免許	2005年04月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 武庫川女子大学薬学部 助手会幹事	2015年	
2. 武庫川女子大学薬学部 広報委員 OC担当	2013年～2014年	
3. 鳴松会 幹事	2011年～2012年	
4. 武庫川女子大学薬学部 国際交流委員	2010年～現在	
5. 武庫川女子大学薬学部 薬友会総務	2008年～2010年	
6. 学校薬剤師	2007年～2012年	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 天然植物の動物モデルにおけるインスリン抵抗性を背景として生活習慣病予防改善効果及びそのメカニズムに関する研究	単	2012年		
3 学術論文				
1. Qiwei granules alleviates podocyte lesion in kidney of diabetic KK-Ay mice (査読付)	共	2015年	BMC Complement Altern Med. 31:15:97	Zhou J, Sun W, Yoshitomi H, Li L, Qin L, Guo X, Wu L, Zhang Y, Wu X, Xu T, Gao M, Liu T 漢方処方Qiwei顆粒はKK-A(y)マウスにおいて、腎臓の隔膜における様々な分子の発現やAktシグナリングを活性化することで、糖尿病性腎障害から保護する可能性を見出した。
2. Tang-Nai-Kang Alleviates Pre-diabetes and Metabolic Disorders and Induces a Gene Expression	共	2015年	PLoS One. 13:10(4)	Li L, Yoshitomi H, Wei Y, Qin L, Zhou J, Xu T, Wu X, Zhou T, Sun W, Guo X, Wu L, Wang H, Zhang Y, Li C, Liu T, Gao M.

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
-------------	-------------	---------------	-----------------------	----

3 学術論文

n Switch toward Fatty Acid Oxidation in SHR.Cg-Leprcp/NDmcr Rats. (査読付)				漢方処方Tang-Nai-Kang はメタボリックシンドロームモデルラットにおいて抗肥満作用、高脂血症改善作用を示し、そのメカニズムとして、Sirt1及びAMPKの活性であることを突き止めた
3. L-Citrulline increases hepatic sensitivity to insulin by reducing the phosphorylation of serine 1101 in insulin receptor substrate-1 (査読付)	共	2015年	BMC Complement Altern Med.;15:188	Yoshitomi H, Momoo M, Ma X, Huang Y, Suguro S, Yamagishi Y, Gao M アミノ酸の一つであるL-シトルリンはIRS1セリン1101のリン酸化を抑制することで、肝臓のインスリンシグナルを増強することを明らかにした
4. Isoquercitrin activates the AMP-activated protein kinase (AMPK) signal pathway in rat H4IIE cells (査読付)	共	2014年	BMC Complement Altern Med. 14:42	Zhou J, Yoshitomi H, Liu T, Zhou B, Sun W, Qin L, Guo X, Huang L, Wu L, Gao M. Isoquercitrinは肝臓においてAMPKを活性化させ、脂肪蓄積を抑制することを明らかにした
5. Guava leaf extracts promote glucose metabolism in SHRSP.Z-Leprfa/Izm rats by improving insulin resistance in skeletal muscle. (査読付)	共	2013年	BMC Complement Altern Med. 13:52	Guo X, Yoshitomi H, Gao M, Qin L, Duan Y, Sun W, Xu T, Xie P, Zhou J, Huang L, Liu T. グアバ葉エキスはSHRSP.ZFラットの筋肉においてインスリン抵抗性を改善し、糖代謝を促進する作用があることを見出した。
6. Guava Leaf extracts inhibit 3T3-L1 adipocyte differentiation via activating AMPK. (査読付)	共	2013年	Journal of nutritional therapeutics, 31: 107-113	Yoshitomi H, Qin L, Liu T, Gao M グアバ葉エキスはAMPK活性を介して3T3-L1細胞前駆脂肪細胞の分化を抑制し、抗肥満効果がある可能性が示唆された
7. Guava leaf extracts alleviate fatty liver via expression of adiponectin receptors in SHRSP.Z-Leprfa/Izm rats. (査読付)	共	2012年	Nutr Metab (Lond).13	Yoshitomi H, Guo X, Liu T, Gao M グアバ葉エキスはSHRSP.ZFラットの肝臓において、アディポネクチンレセプターの発現量を増加させ、インスリン抵抗性を改善することで脂肪肝を抑制する可能性を見出した。
8. Phosphorylated endothelial NOS Ser1177 via the PI3K/Akt pathway is depressed in the brain of stroke-prone spontaneously hypertensive rat. (査読付)	共	2011年	J Stroke Cerebrovasc Dis.; 20 (5):406-12	Yoshitomi H, Xu Q, Gao M, Yamori Y SHRSPラットの脳内においてAkt/PI3kを介したeNOSのser1101リン酸化が减弱しており、これが血圧上昇の原因の一つである可能性を見出した
9. Beneficial effect of Sparassis crispa on stroke through activation of Akt/eNOS pathway in brain of SHRSP. (査読付)	共	2011年	Journal of Natural Medicine; 65: 135-141	Yoshitomi H, Iwaoka E, Kubo M, Shibata M, Gao M キノコの一つであるハナビラタケをSHRSPラットに長期摂取させたところ、血圧上昇を抑制し、生存日数を有意に延長した。このメカニズムとして、ハナビラタケはインスリンシグナルの主要酵素であるAktを介してeNOS活性を促進し、NO産生を引き起こしている可能性を見出した。
10. High susceptibility of obese hypertensive SHRSP.Z-Lepr(fa) / IzmDmcr rats to lipid deposition in the mesenteric artery. (査読付)	共	2010年	Clin Exp Pharmacol Physiol. Nov;37(11):1102-4.	Kunimasa K, Yoshitomi H, Miura C, Mori H, Tsuchikura S, Ikeda K, Gao M, Yamori Y, Mori M 本研究は、高血圧自然発症ラットのSHRSPラットとそこに肥満、糖尿病を合わせもつSHRSP.ZFラットとSHRCPラットで動脈硬化について比較検討を行った。その結果、SHRSP.ZFラットは動脈硬化モデル動物として有用であることを証明した
11. Beneficial Effect of Sparassis crispa on the Anti-hypertension through Activation of Endothelial Nitric Oxide Synthase in kidney of SHRSP	共	2009年	Clinical and Experimental Hypertension. 31 (6):501	Yoshitomi H, Gao M ハナビラタケはSHRSPラットの腎臓において、Akt/eNOSを活性化させていることを突き止めた
12. メタボリックシンドローム動物モデル (SHRSP/ZF) における生薬配合剤のインスリン抵抗性改善効果に関する研究	共	2008年	健康回復	辻早矢佳, 吉富久恵, 高明 本研究は生薬配合剤のSHRSP/ZFラットにおける血圧上昇抑制や高脂血症、高血糖、高インスリン血症の改善を証明し、またはそのメカニズムについてはインスリンシグナル調節に関与する可能性を示した。

その他

1. 学会ゲストスピーカー

1. グアバ (Psidium guajava) 葉抽出物のメタボリックシンドロームに対する予防・改善効果	共	2014年	第16届留日中国人生命科学協会学術年会	吉富久恵 高明
-------------------------------------------------------	---	-------	---------------------	---------

2. 学会発表

1. 青銭柳エキスの血糖降下作用について	共	2015年	日本薬学会第135年会	津留里佳 吉富久恵 李林憶 劉銅華 高明
2. 青銭柳エキスの肝細胞におけるインスリンシグナル刺激作用	共	2015年	日本薬学会第135年会	南由美 吉富久恵 李林憶 劉銅華 高明
3. Study on anti-obesity effects of Cyclocarya paliurus extracts	共	2014年	日本薬学会第134年会	李林憶 吉富久恵 劉銅華 高明
4. L-Citrullineの摂食抑制を介した抗肥満作用について	共	2014年	日本薬学会第134年会	吉富久恵 渡邊綾子 勝呂菜 山岸淑恵 高明
5. L-シトルリンのインスリン抵抗性改善効果のメカニズムに関	共	2013年	日本薬学会第133年会	桃尾麻岐, 吉富久恵, 勝呂菜, 山岸淑恵, 高明

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
する？ 研究				
6. b16細胞におけるブアメラオイル ？ のチロシナーゼのユビキチン 促進？ 作用について	共	2013年	日本薬学会第133年会	畑井麻友子、吉富久恵、西垣敏明、高明
7. 動物モデルにおけるL-Citrulline の抗肥満効果について	共	2012年	日本薬学会第132年会	桃尾麻岐 吉富久恵 勝呂栞 山岸淑恵 高明
8. ブアメラオイルのチロシナーゼ分 解促進作用について	共	2012年	日本薬学会第132年会	畑井麻友子 吉富久恵 西垣敏明 高明
9. 動物モデルにおけるL-Citrulline のインスリン抵抗性改善効果につ いて	共	2012年	第62回日本薬学会近畿 支部総会・大会	桃尾麻岐 吉富久恵 青山万智 紙谷蓉子 勝呂栞 山岸淑恵 高明
10. ブアメラオイルのチロシナーゼ量 減少メカニズムに関する研究	共	2012年	第62回日本薬学会近畿 支部総会・大会	畑井麻友子 吉富久恵 西垣敏明 高明
11. ノニ (Morinda citrifolia) の 血圧上昇抑制効果に関する研究	共	2012年	第62回日本薬学会近畿 支部総会・大会	渡邊綾子 吉富久恵 西垣敏明 高明
12. L-シトルリンの糖代謝改善作用	共	2012年	日本末病システム学会 学術総会	山岸淑恵 桃尾麻岐 山口裕子 畑井麻友子 勝呂 栞 吉富久恵 高明
13. 動物モデルにおけるL-シトルリン の抗肥満効果	共	2012年	第3回産官学連携シンポ ジウム－新発想のアミ ノ酸科学－	山岸淑恵 桃尾麻岐 吉富久恵 勝呂栞 高明
14. 動物モデルにおけるワサビ葉熱水 抽出物 (アディポナックス) のメ タボリックシンドロームの改善作 用	共	2011年	日本薬学会第131年会	吉富久恵 飯沼清栄 高明
15. L-citrullineのインスリンシグナル 経路に対する影響	共	2011年	第61回日本薬学会近畿 支部総会・大会	桃尾麻岐 吉富久恵 勝呂栞 山岸淑恵 高明
16. ブアメラオイルの美白効果に関す る研究	共	2011年	第61回日本薬学会近畿 支部総会・大会	畑井麻友子 吉富久恵 西垣敏明 高明
17. メタボリックシンドローム動物モ デルにおけるResveratrolのイン スリン抵抗性改善効果	共	2010年	日本薬学会第130年会	三浦ちとせ 吉富久恵 高明
18. 脳卒中易発症動物モデルにおける ノニ (Morinda citrifolia) の 延命効果に関する研究	共	2010年	日本薬学会第130年会	吉富久恵 Surono Ingrid 西垣敏明 高明
19. 動物モデルにおけるGuava Leaf のメタボリックシンドローム改善 作用	共	2010年	日本薬学会第130年会	郭翔宇 吉富久恵 高明 劉銅華
20. メタボリックシンドローム動物に おけるResveratrolの腎障害改善 効果	共	2010年	第3回食品薬学シンポジ ウム	三浦ちとせ 吉富久恵 森英樹 森真理 家森幸男 高明
21. ハナビラタケ抽出エキスのメラニ ン産生抑制メカニズムの解析	共	2010年	日本薬学会第130年会	福武侑子 吉富久恵 久保正秀 柴田勝 高明
22. L-シトルリンの糖代謝に対する影 響	共	2010年	第60回日本薬学会近畿 支部総会・大会	桃尾麻岐 吉富久恵 勝呂栞 山岸淑恵 高明
23. 脳卒中易発症高血圧自然発症ラッ ト (SHRSP) におけるハナビラタ ケの脳血管内皮機能改善効果	共	2009年	日本薬学会第129年会	吉富久恵 高明
24. 動物モデルにおけるResveratrol のメタボリックシンドロームに対 する効果	共	2009年	日本薬学会第129年会	三浦ちとせ 吉富久恵 森英樹 森真理 家森幸男 高明
25. ハナビラタケ分画エキスのメラニ ン産生に対する影響	共	2009年	日本薬学会第129年会	福武侑子 吉富久恵 久保正秀 柴田勝 高明
26. SHR-SPにおけるハナビラタケの血 圧上昇抑制及び脳卒中発症遅延効 果の解析	共	2009年	SHR学会	吉富久恵 高明
27. 漢方薬のメタボリックシンドローム ラットにおけるインスリン抵抗 性改善効果及びその機能に関する 研究	共	2009年	日本薬学会第129年会	辻早矢佳 吉富久恵 高明
28. ハナビラタケの血圧上昇抑制効果 のメカニズムに関する解析	共	2008年	日本薬学会第128年会	吉富久恵 岩岡恵実子 高明
29. ハナビラタケの動物モデルにおけ る脳卒中発症予防効果	共	2008年	第2回食品薬学シンポジ ウム	吉富久恵 岩岡恵実子 久保正秀 柴田勝 高明
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 天然植物の美白効果	単	2014年	第6回兵庫サイエンスフェア	
2. 天然植物の美白効果	単	2013年	第5回兵庫サイエンスフェア	
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
	日本薬学会